

# 志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会 第12回 次第

日時：令和5年1月24日（火） 午後6時15分～  
会場：グリーンカレッジホール 3階 教室1

## 【第12回の到達点】

- 小中一貫型学校の校舎設計案について、意見交換を行う。

### 1 会長あいさつ

### 2 検討事項

- (1) 校舎設計案の説明について【資料1】

### 3 報告事項

- (1) 基本設計（案）の説明会について

開催日	開催時間	開催場所
3月7日（火）	18時30分～20時00分	志村小学校体育館
3月9日（木）	18時30分～20時00分	志村第四中学校体育館
3月11日（土）	14時00分～15時30分	グリーンカレッジホール3F教室1

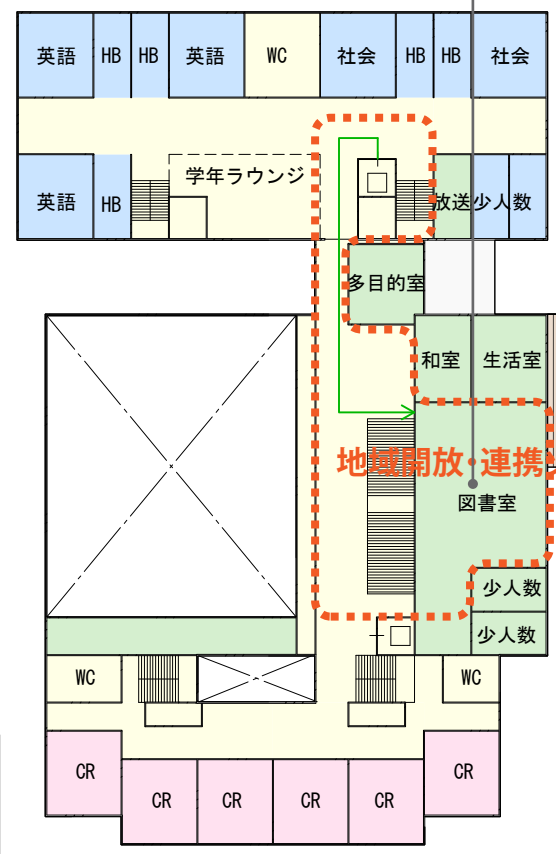
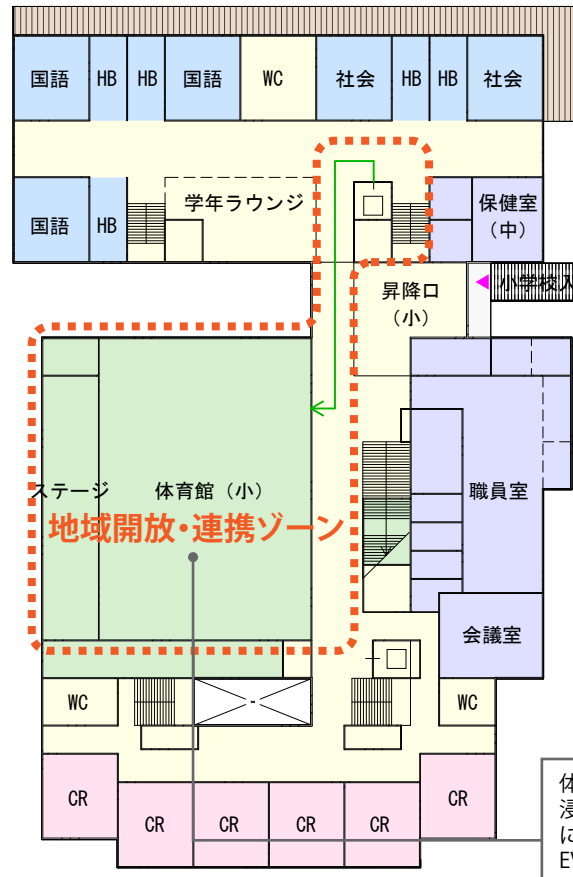
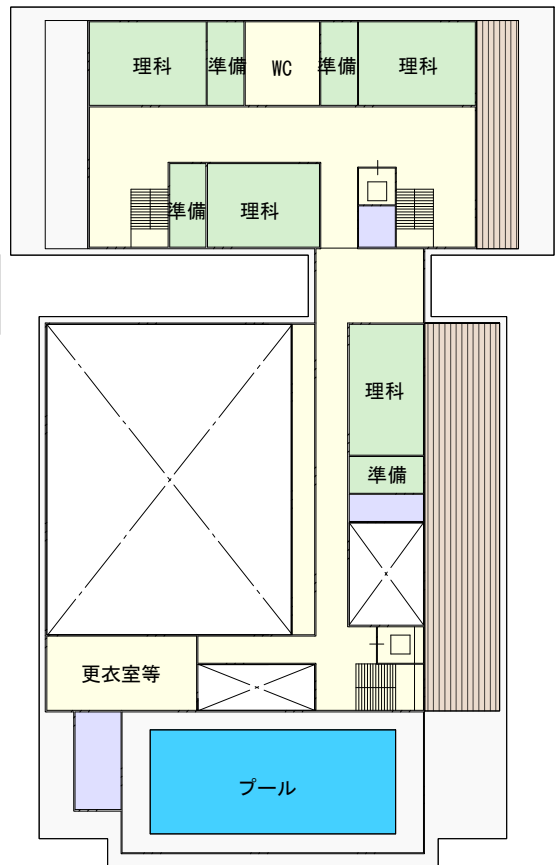
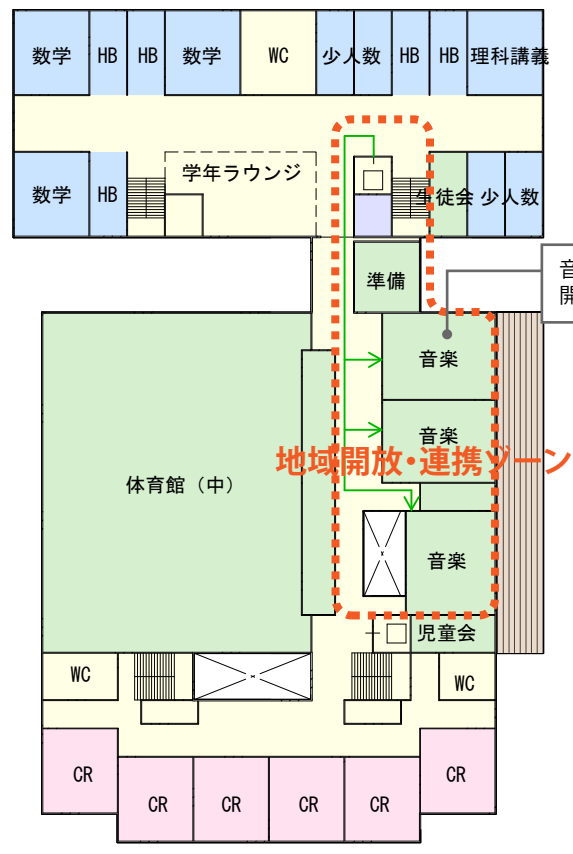
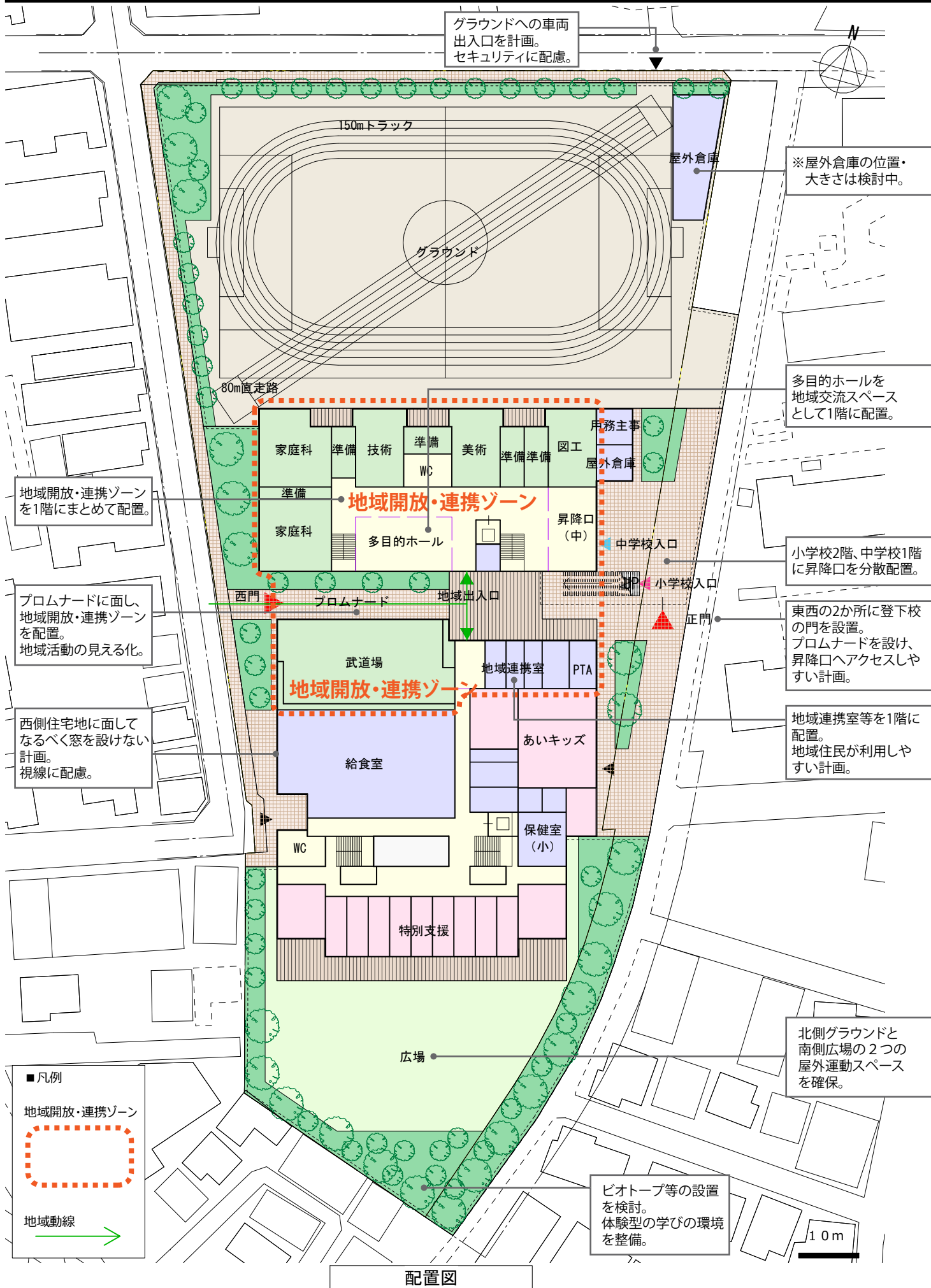
《次回以降のお知らせ》

## 【第13回検討会】

日時：令和5年3月中旬 午後6時15分から午後7時30分（予定）

場所：未定

※基本設計途中検討段階の資料です。  
計画案は今後の基本設計、実施設計及び行政協議等により変更となる可能性があります。



オープンな図書室  
を計画。

体育館(避難所)は、  
浸水時に備え、2階  
に配置。  
EVを設け、バリアフ  
リー動線を確保。

※CR: 小学校普通教室  
HB: 中学校ホームベース

区立志村小学校・区立志村第四中学校小中一貫型学校改築 基本設計

※今後の行政協議によっては、計画内容に変更が生じる可能性があります。

第12回

志村小・志村四中

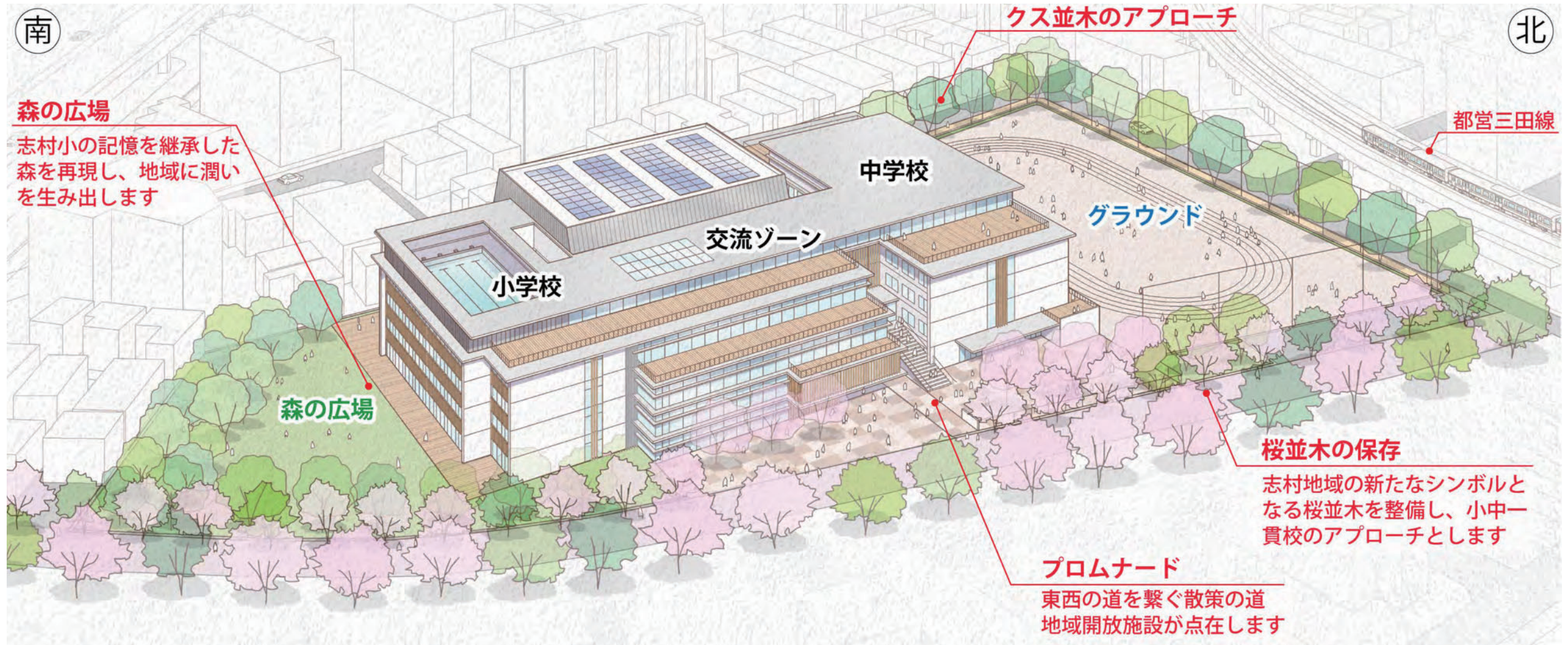
小中一貫型学校設置検討会

## 本日の流れ

- 1 .基本設計計画案について
- 2 .基本構想・基本計画での地域意見反映について

# 配置・ゾーニング

## 「横につながる・低層・広い」学校： ◆5階建ての校舎◆小中を横につなげる配置



※外観イメージです。  
今後変更となる可能性があります。

## 地域を「プロムナード」でつなぐ

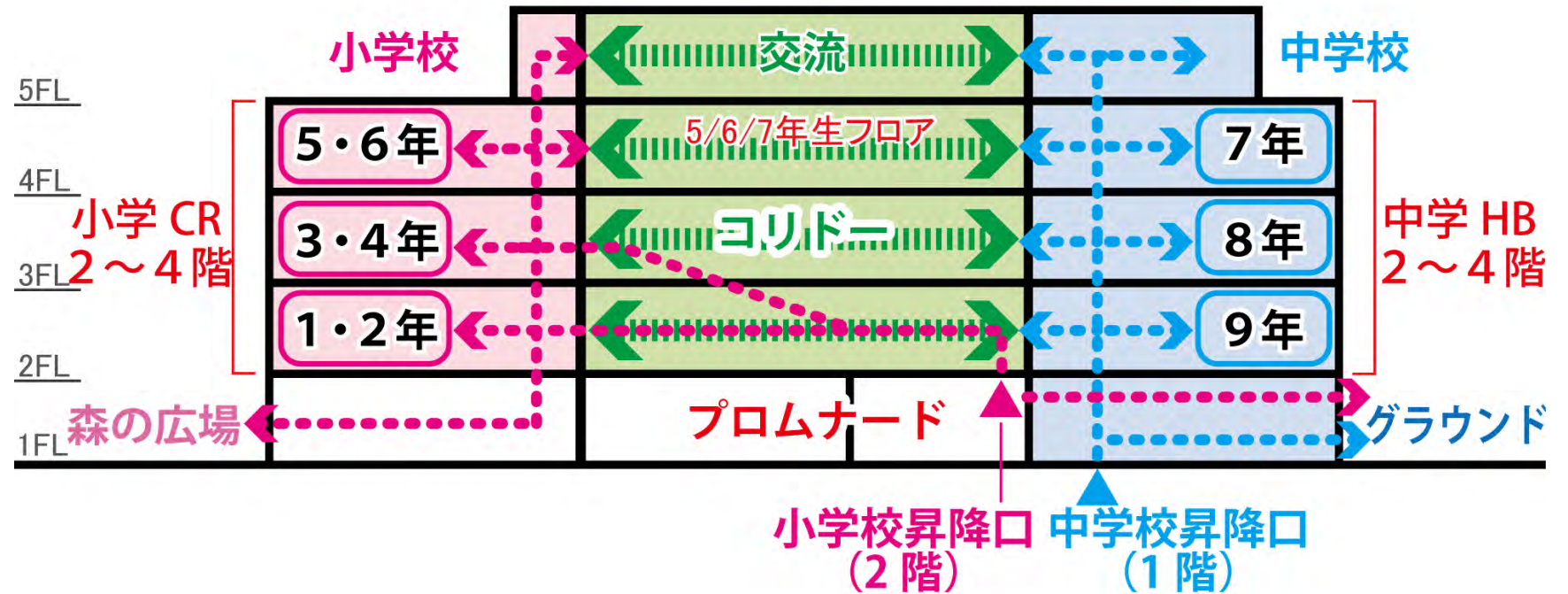
- 小学校の広場と中学校のグラウンドをそれぞれ南北に設け、小/中の体格差と安全に配慮。
- 桜並木やクス並木によるアプローチを整備し、東西をつなぐ「プロムナード」を計画。
- プロムナードに面して地域開放施設を配置し、「地域の顔」を作る。



# 断面・ゾーニング

## 小中の連携と独立性を確保したゾーニング

- 小/中の昇降口を完全に分離。
- 学年のまとまりに配慮。
- 動線の交錯が少なく、目が届く安全安心な学校づくり。



■小学（赤）と中学（青）を分離した動線計画イメージ

# 平面計画



地域開放・連携ゾーンを1階にまとめて配置。

プロムナードに面し、地域開放・連携ゾーンを配置。地域活動の見える化。

西側住宅地に面してなるべく窓を設けない計画。視線に配慮。

多目的ホールを地域交流スペースとして1階に配置。

小学校2階、中学校1階に昇降口を分散配置。

東西の2か所に登下校の門を設置。プロムナードを設け、昇降口へアクセスしやすい計画。

地域連携室等を1階に配置。地域住民が利用しやすい計画。

← 中学校動線

← 小学校動線

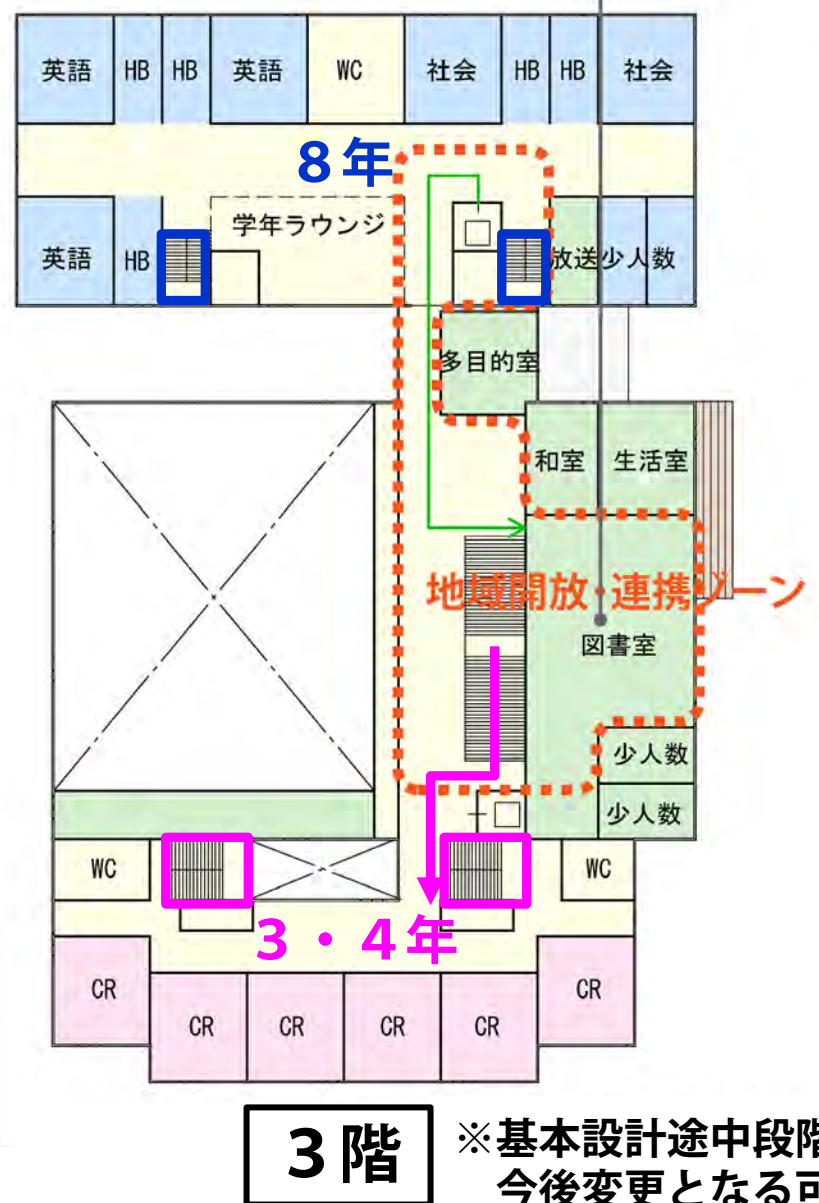
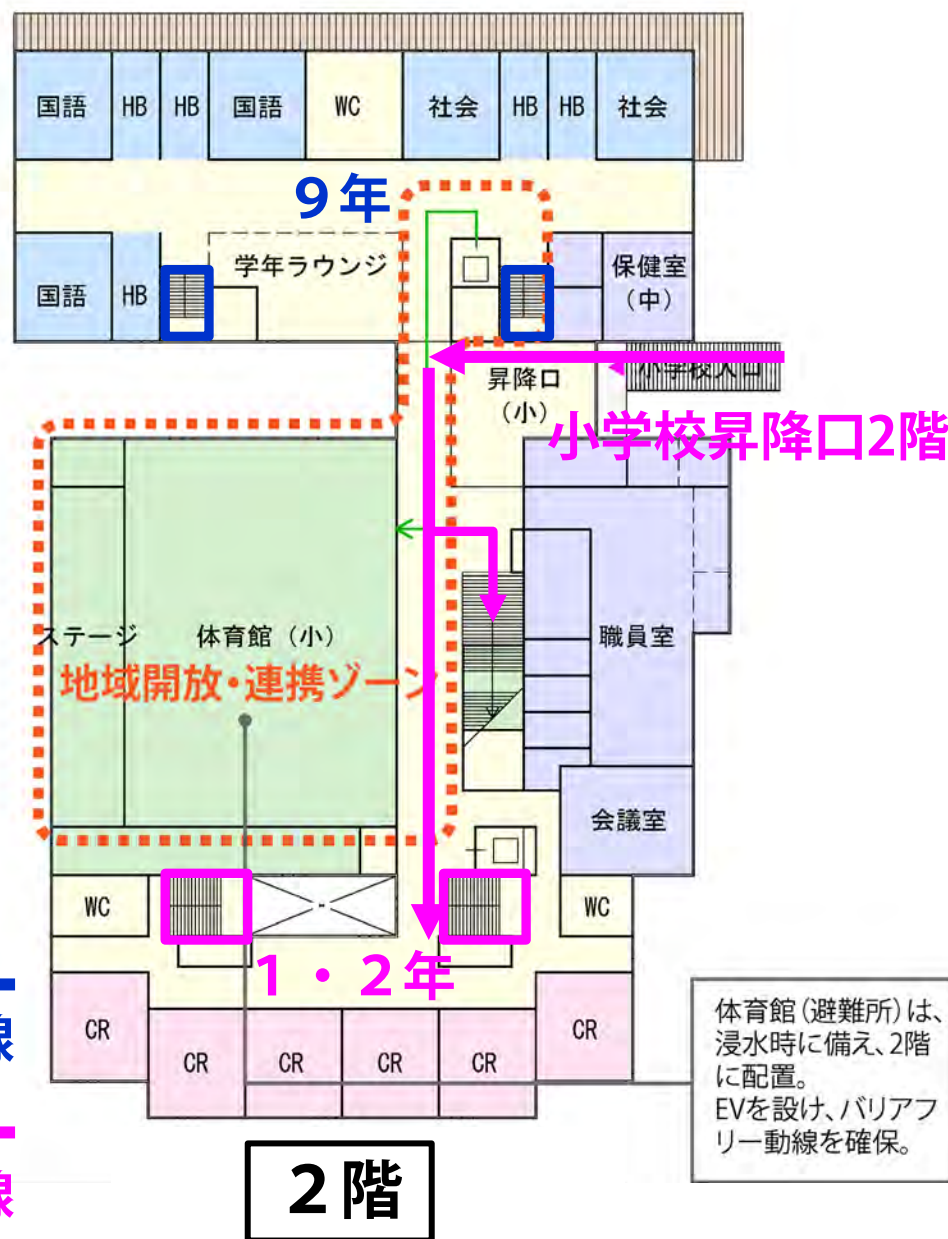
1階

※基本設計途中段階の検討案です。今後変更となる可能性があります。

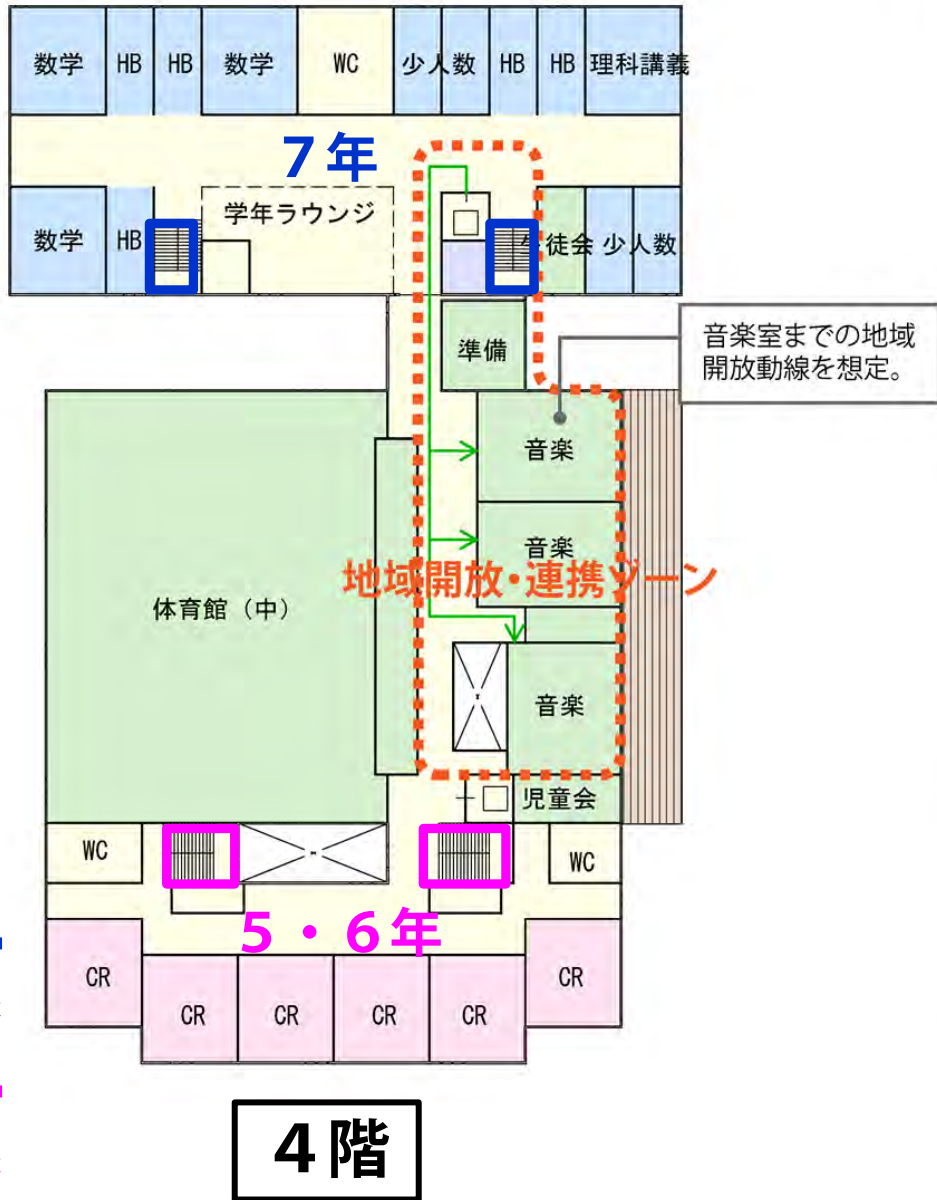


# 平面計画

オープンな図書室  
を計画。

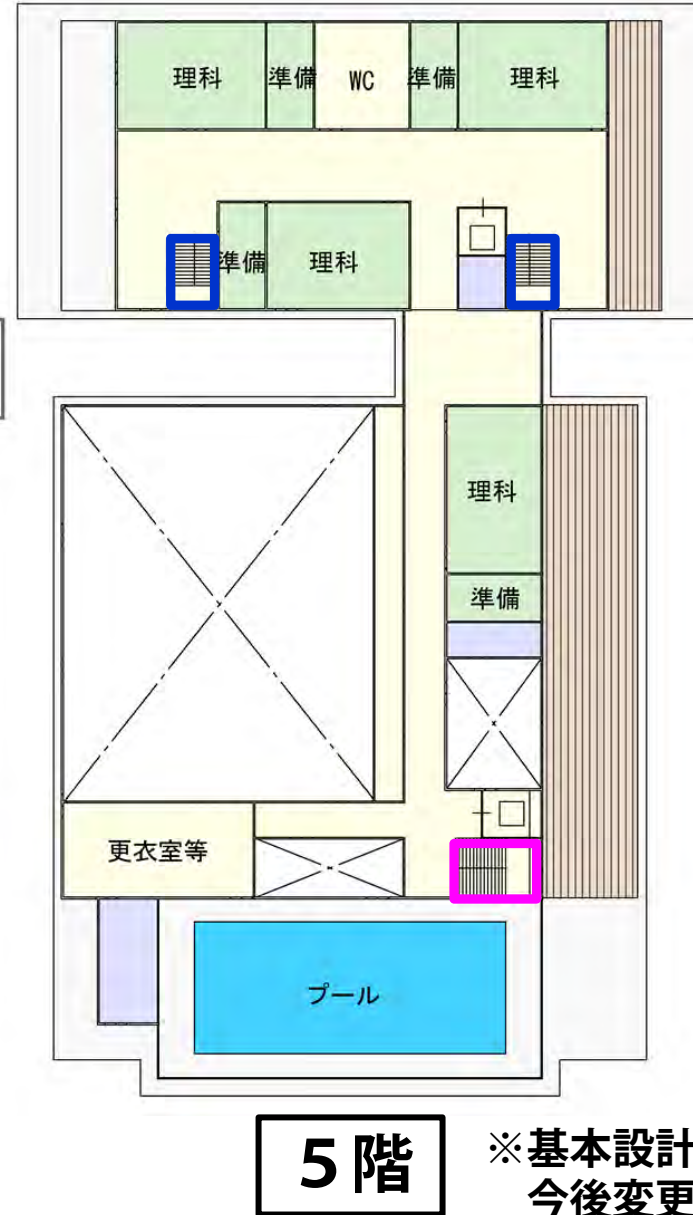


# 平面計画



← 中学校動線

← 小学校動線



※基本設計途中段階の検討案です。  
今後変更となる可能性があります。

## 基本構想・基本計画時の地域意見反映内容

### 基本構想・基本計画に関する提言

(1)-1 地域が学校とどの様に関わりたいか

(1)-2 どんな学校をつくりたいか

(2) 学校の配置

(3)-1 地域と学校が連携・協働する部屋

(3)-2 地域連携・協働ゾーンの配置・  
校地の利用

第1回  
ワークショップ

第2回  
ワークショップ

第3回  
ワークショップ

# 第1回ワークショップ意見反映内容

## (1)-1 地域がどの様に学校に関わりたいか

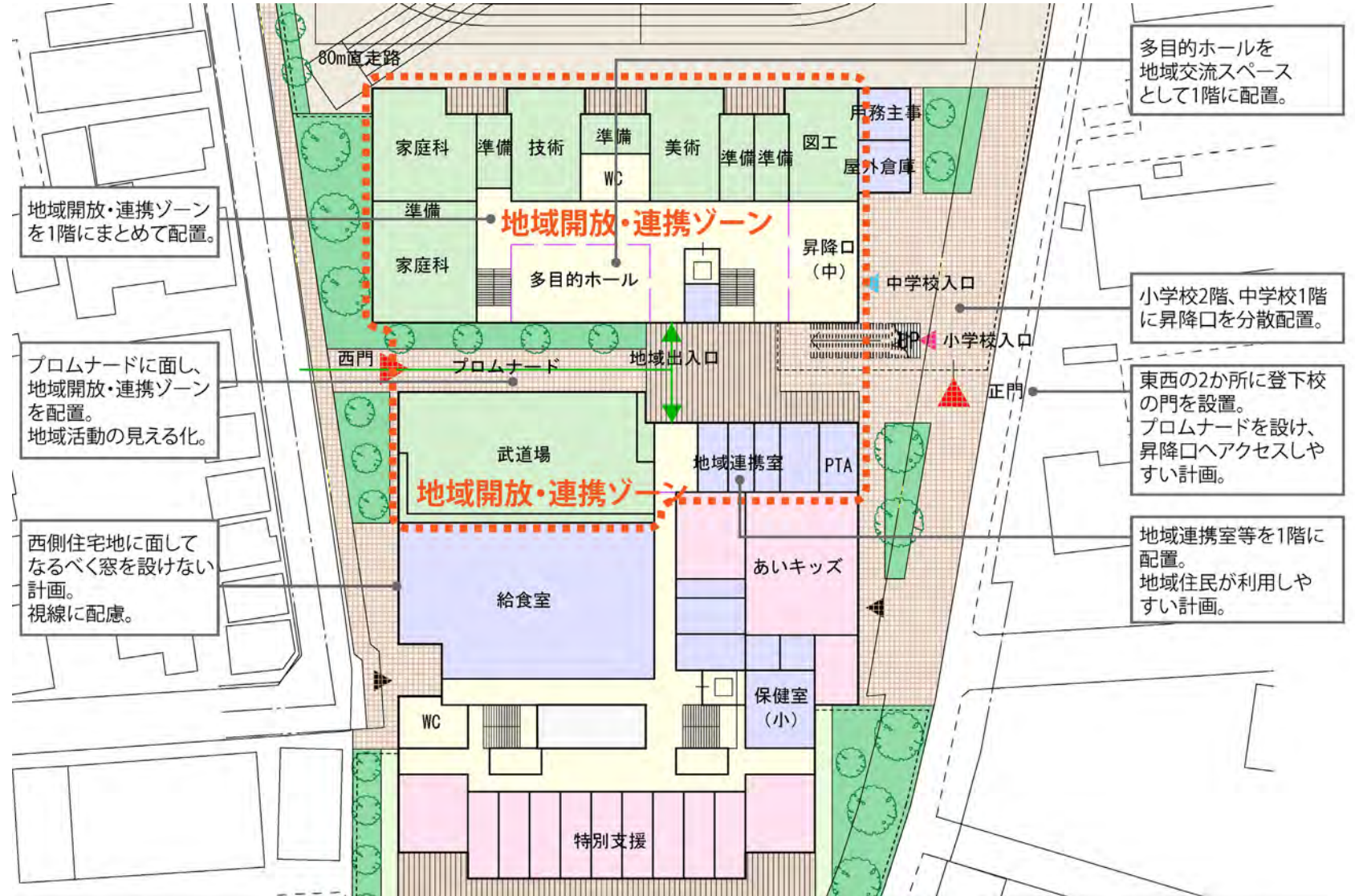
### 地域 交流

- ・地域住民の学習支援の場として、地域の大人が子供たちに教える機会が重要。
- ・学校行事の観覧や授業参観など地域住民の学校利用しやすい施設。
- ・卒業後の学校へ行くきっかけとして、スポーツなどで学校施設を一部開放が必要。

# 平面計画

## →【計画案への反映】

- ・1階に地域連携室やPTA室、交流スペースとして多目的ホールを配置。地域住民が利用しやすい場所を想定。
- ・グラウンドや体育館（小）の地域開放を想定。



地域開放・連携ゾーンを1階にまとめて配置。

プロムナードに面し、地域開放・連携ゾーンを配置。地域活動の見える化。

西側住宅地に面してなるべく窓を設けない計画。視線に配慮。

多目的ホールを地域交流スペースとして1階に配置。

小学校2階、中学校1階に昇降口を分散配置。

東西の2か所に登下校の門を設置。プロムナードを設け、昇降口へアクセスしやすい計画。

地域連携室等を1階に配置。地域住民が利用しやすい計画。

1階

※基本設計途中段階の検討案です。今後変更となる可能性があります。11

# 第1回ワークショップ意見反映内容

## (1)-1 地域がどの様に学校に関わりたいか

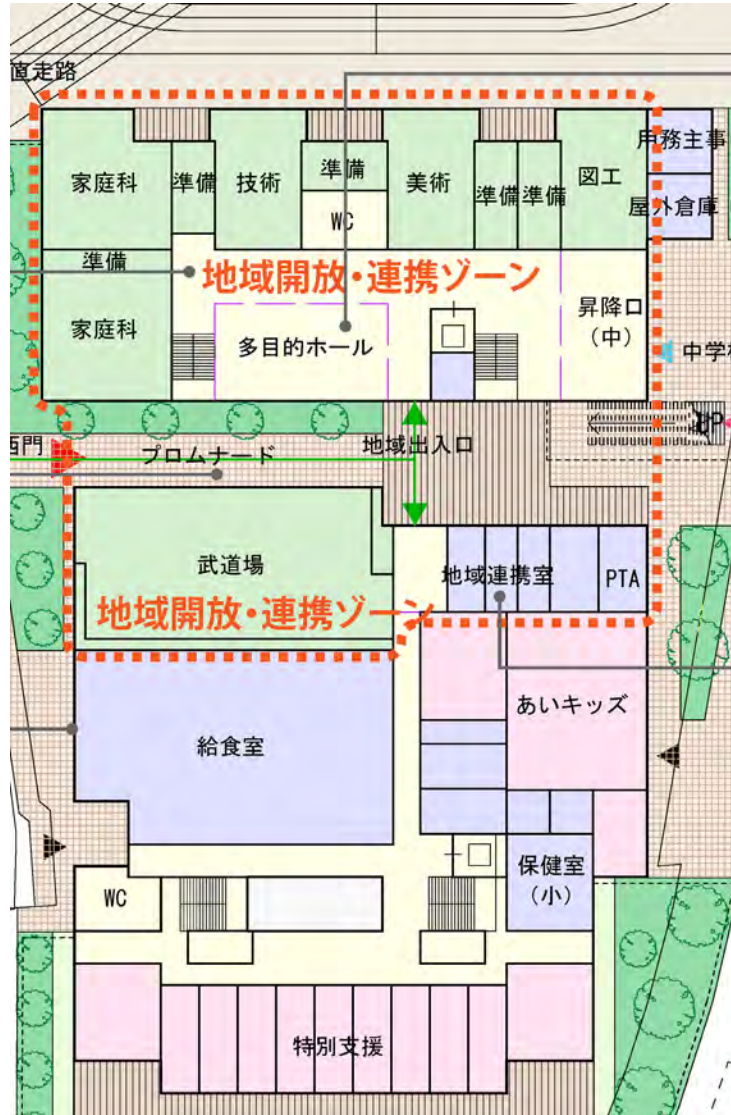
### 施設・ 環境

- ・学校の雰囲気や中の様子が分かる誰もが使いやすい学校。
- ・地域/子ども/教員が交流する場所として、地域のコミュニティスペースがある学校。
- ・地域図書館と複合化した学校。
- ・授業参観しやすい教室まわり。
- ・地域との連携などの活動状況が見える地域の顔となる学校。

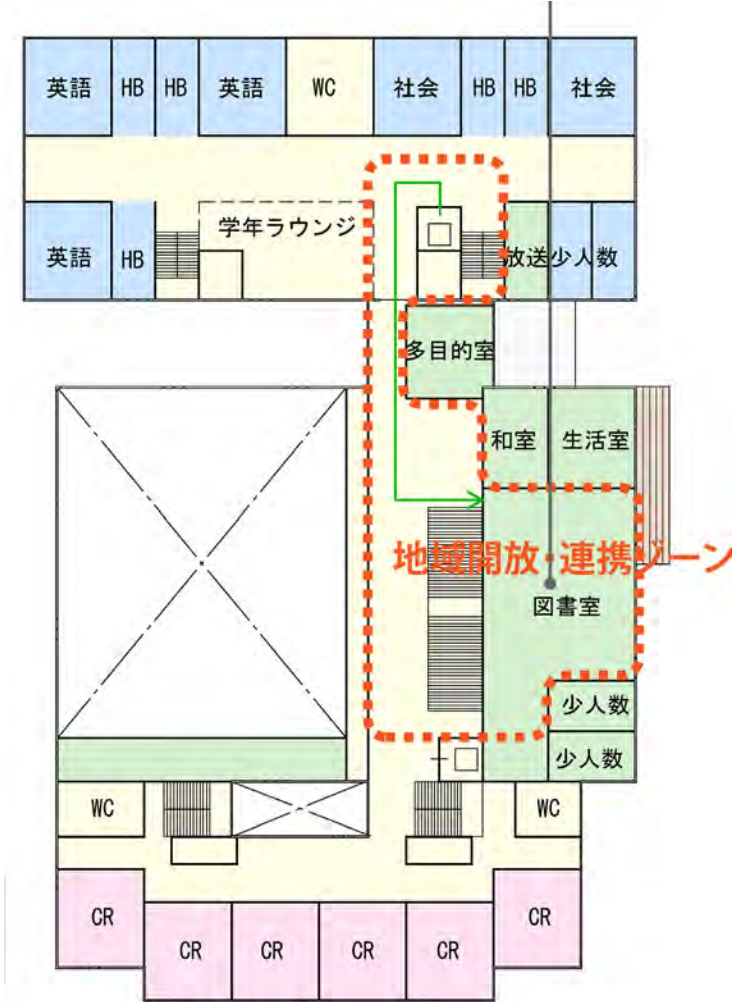
# 平面計画

## →【計画案への反映】

- 1階の多目的ホールを地域を含めた交流スペースとして計画。
- 各階の中央に交流ゾーンをまとめ、児童/生徒/教員の交流を生み出す計画。
- 3階に地域開放可能な図書室を計画。
- プロムナードに面して、主な地域開放・連携ゾーンを計画し、活動の見える化を検討。



1階



3階

※基本設計途中段階の検討案です。  
今後変更となる可能性があります。

# 第1回ワークショップ意見反映内容

## (1)-1 地域がどの様に学校に関わりたいか

### 地域 活動 ・防災

- ・地域ぐるみの活動を生み出し、促進する機能を持った学校。
- ・防災拠点として、児童/生徒/地域合同の連携ができる学校。

→【計画案への反映】

- ・運用面については、今後検討。



# 第1回ワークショップ意見反映内容

## (1)-2 どんな学校を作りたいか

### まなび ・空間

- ・すべての児童/生徒にとって、多様な居場所や相談できる場所を屋内/屋外に用意。
- ・体験型の学び（ビオトープ・畑等）の環境の整備
- ・空間を有効活用し、児童/生徒1人あたりの面積を大きくし、可変性のある学習環境を整備。

# 平面計画

## →【計画案への反映】

- ・中央の交流ゾーンに小中共用室をまとめ、児童/生徒が多様な居場所を見つけられる計画。
- ・南側の広場に緑地/ビオトープ/畑等を検討。
- ・多目的な用途で利用できるオープンスペースや教室を計画し、可変性のある学習環境を整備。



1階

※基本設計途中段階の検討案です。今後変更となる可能性があります。16

# 第1回ワークショップ意見反映内容

## (1)-2 どんな学校を作りたいか

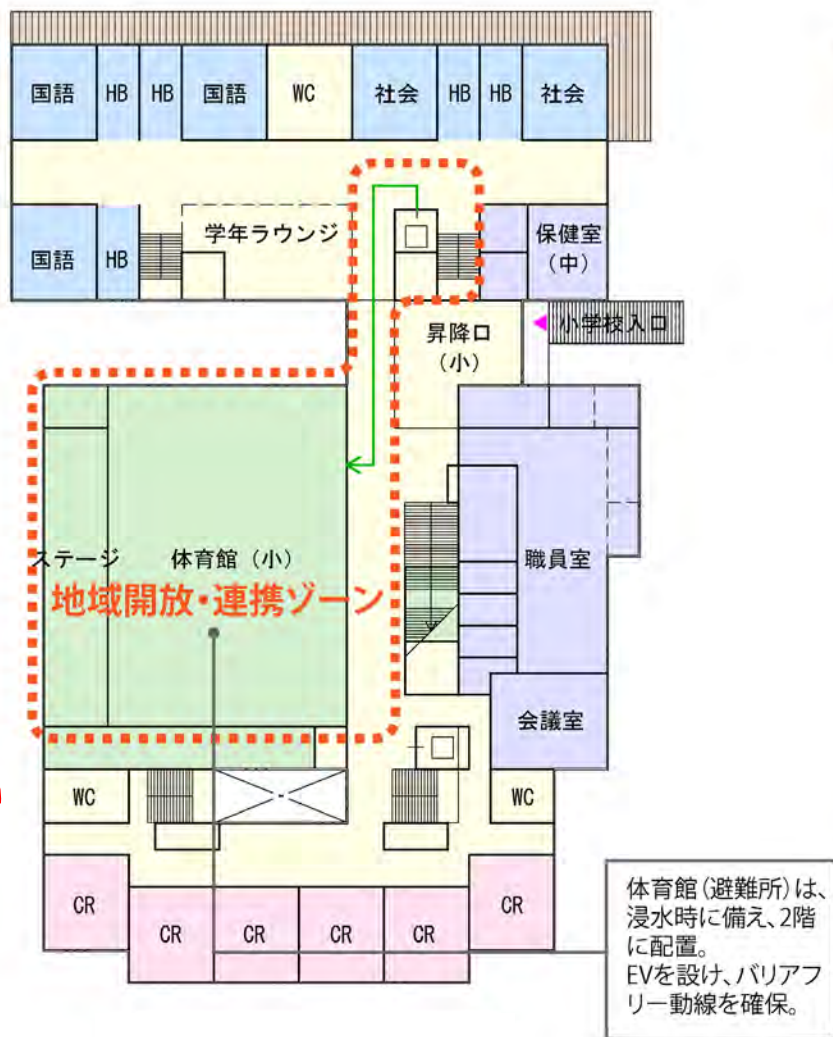
### 安心 安全 ・防犯

- ・小中学生で体格差があるので、校庭での安全性や動線が重ならないように配慮。
- ・開放感や視線の抜けがある学校。
- ・死角を作らない空間づくりをすることで、いじめ対策No.1を目指した学校。
- ・先生が働きやすく子どもたちに対応しやすい環境の整備。
- ・学童保育施設の配置は安全面に配慮。

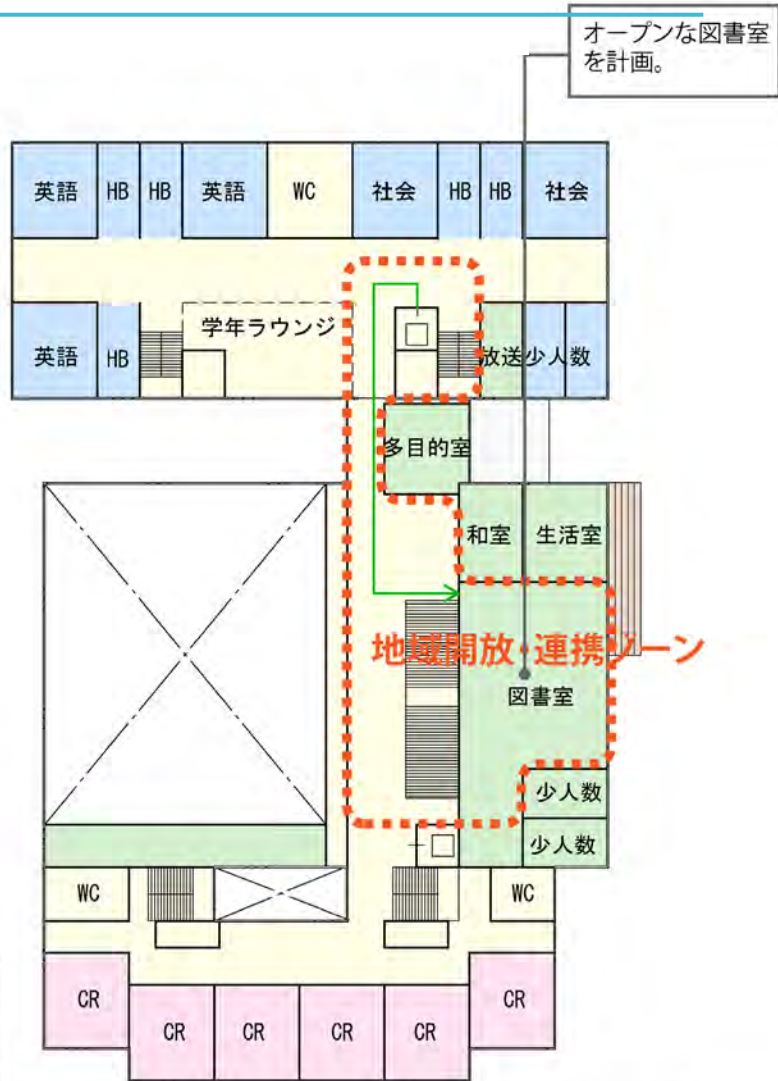
# 平面計画

## →【計画案への反映】

- ・南側に広場を計画し、児童が安全に遊べる屋外運動スペースを確保。
- ・小中の教室エリアを南北に分け、動線の交錯に配慮した計画。
- ・見通しの良い廊下形状で、死角を作らない計画。
- ・職員室は各教室からアクセスしやすい2階中央に配置。
- ・学童保育施設は1階東側に計画。



2階



3階

※基本設計途中段階の検討案です。今後変更となる可能性があります。

# 第1回ワークショップ意見反映内容

## (1)-2 どんな学校を作りたいか

### 文化・ 歴史

- ・学校周辺の清掃などの文化を残す。
- ・泰山木や記念樹、門の校章など、モニュメントの展示スペースを設置。
- ・歴史のアーカイブ化やVRでの校舎再現など学校や地域の歴史を残す方法を検討。

#### →【計画案への反映】

- ・記念樹（シダレザクラ）の移植を検討。
- ・展示スペースの設置場所を今後検討。
- ・文化/歴史をの残す方法、運用については、今後検討。

## (2) 学校の配置について

### 学校 配置

- ・校庭での安全性や動線が重ならない配慮として大小 2 つの屋外活動スペースを確保。
- ・工事期間中も、できるだけ通常時の教育環境に近づけるよう、運動場所の確保などに配慮。
- ・西側住宅への日影が大きくなるように、建物西側はできるだけ高さを抑えるなどの配慮。
- ・校舎からの視線対策について検討。

### →【計画案への反映】

- ・北側グラウンドと南側広場を計画。
- ・工事期間中も志村四中の既存体育館は利用可能。  
志村小は既存体育館・既存グラウンドともに利用可能。
- ・校舎全体を5階建てで計画し、近隣への圧迫感を抑えた計画。
- ・西側住宅地に面する部分はなるべく窓を設けず、視線に配慮。

## (2) 学校の配置について

### 学校 配置

- ・地階設置など低層化の検討。
- ・「地域の顔」となれるよう、学校機能の見える化を意識。
- ・昇降口へのアプローチのしやすさに配慮。

#### →【計画案への反映】

- ・5階建ての低層化を実現。普通教室は4階までの計画。
- ・学校機能の見える化については、今後検討。
- ・東西の2方向から昇降口へアクセスできる計画。プロムナードを整備。

# 第3回ワークショップ意見反映内容

## (3)-1 地域と学校が連携・協働すべき室

### 連携・ 協働室

- ・「板橋区立学校施設標準設計指針」に挙げられている室に加えて、音楽室についても検討。
- ・放課後に部活動などで使用のない室については、地域開放できる可能性があるため配置に配慮。
- ・地域と連携・協働を行う室及びスペースは、低層階に配置するなどのアクセス面に配慮。
- ・陶芸小屋を地域で利用しているので、設置場所を含め配慮が必要。

### →【計画案への反映】

- ・4階音楽室を地域開放できる計画。
- ・1階に地域連携・協働室をまとめて配置し、地域住民が利用しやすい計画。
- ・その他の地域開放する室については、今後検討。



## (3)-2 地域連携・協働ゾーンの配置と校地の利用

### 地域 開放 ・ 地域 連携

- ・地域開放・地域連携ゾーンを1階に配置するなどし、非開放ゾーンとのセキュリティを明確化。
- ・小学校の音楽室を低層階に設置し、地域活動にも利用できるよう検討。

#### →【計画案への反映】

- ・1階に主な地域開放・連携ゾーンを配置。
- 2階以上の地域開放・連携ゾーンへの地域開放動線を設定。
- ・地域の音楽活動は1階武道場や多目的ホールでの利用も想定。
- 4階音楽室の地域開放を想定。

# 第3回ワークショップ意見反映内容

## (3)-2 地域連携・協働ゾーンの配置と校地の利用

### アプローチ

- ・児童/生徒が登下校する門は東西2か所必要。
- ・災害時やイベント開催時を考慮し、北側道路から校庭への搬入用の門が必要。
- ・昇降口は小中学校用に分けることが必要。昇降口の大きさや配置を検討。
- ・災害時開放される部分は、校庭と連携が取りやすい配置。

### →【計画案への反映】

- ・登下校の門は東西の2か所計画。東西をつなぐプロムナードを整備。
- ・北側道路からグラウンドへの車両出入口を計画。
- ・昇降口は小学校2階/中学校1階に分散配置。
- ・災害時利用室は1階武道場と2階体育館（小）を想定。

# 第3回ワークショップ意見反映内容

## (3)-2 地域連携・協働ゾーンの配置と校地の利用

### 避難所 (体育館)

- ・浸水想定高さが3~5mとなるため、2階以上での配置の検討。
- ・車椅子利用者等の移動に対応できるよう、エレベーターを設置。
- ・学校機能と避難所機能は明確に分けられるよう配慮。

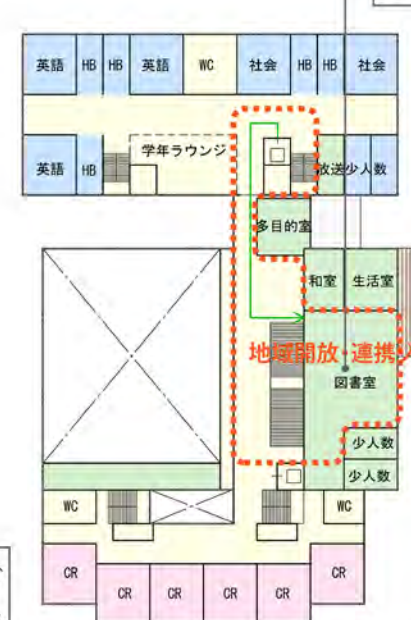
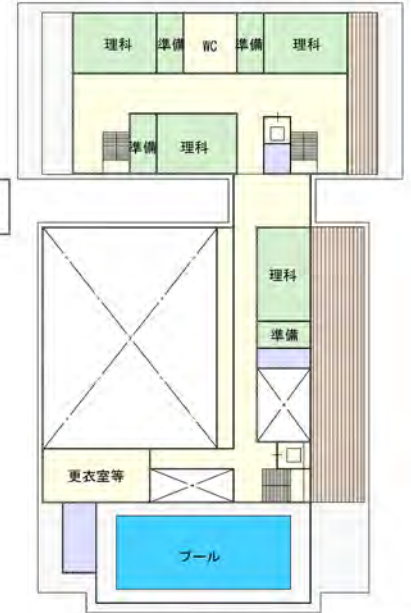
#### →【計画案への反映】

- ・避難所となる体育館（小）を2階に計画。
- ・体育館（小）までのエレベーターを計画。
- ・学校機能と避難所機能の区画については、今後検討。

第12回

志村小・志村四中

小中一貫型学校設置検討会



※CR:小学校普通教室  
HB:中学校ホームベース